

|                  |  |              |           |
|------------------|--|--------------|-----------|
| 授業科目名<br>( 英文名 ) | 教育心理学 (Educational Psychology)   | 科目区分<br>対象学生 |           |
| 単位数              | 2.00   | 開講年次・<br>学期  | 2 年次・前期集中 |
| 担当教員             | 保坂 裕子  | 所属           | 環境人間学部    |
| オフィス・場所          |  | 連絡先          |           |
| 講義目的及び到達目標       | <p>教育心理学においては、教育実践を教育する側のみならず、学ぶ側の視点をもつことが必要である。また、心身の発達過程および特徴を理解することによって、多様な学びの可能性を追求するよりよい実践の可能性を追求することを目指す。</p> <p>( 1 ) 各心理学において見出された学習の形態や概念、過程に関わる基礎理論を理解する</p> <p>( 2 ) 学校における人間関係 ( 生徒間、教師－生徒など ) や集団づくり、について理解する</p> <p>( 3 ) 主体的学びを達成するための授業づくりや学習評価について理解している</p> <p>( 4 ) 個々の心身発達の多様性をふまえた指導とケアについて理解している</p> <p>( 5 ) 学校教育現場における現状をふまえ、課題解決を図ることができる</p>   |              |           |
| 講義内容・授業計画        | <p>&lt; 講義内容 &gt;</p> <p>学校の社会的意義、実践的意義が問い直されるなかで、その根本にある「学習する」とはどういうことか、「発達する」とはどういうことかについて、考察することを目的とする。生徒の発達段階に配慮した学習指導、またいじめや不登校、軽度・重度を含む障害をもった子どもたちへの特別支援教育のあり方などの、現在学校教育現場が直面している課題についても積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>&lt; 授業計画 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 . ガイダンス 本講義の目標や概要を説明する。</li> <li>2 . 現代における教育問題をどのようにみるか。( ディスカッション )</li> <li>3 . 記憶力がいいとはどういうことか(第 1 章)</li> <li>4 . 学ぶことと考えること ( 第 2 章 )</li> <li>5 . ほめることの大切さ(第 3 章)</li> <li>6 . 「やる気」を考える(第 4 章)</li> <li>7 . 学級という社会 ( 第 5 章 )</li> <li>8 . どのように教えるか(第 6 章)</li> <li>9 . どう評価するか ( 第 7 章 )</li> <li>10 . 発達について考える(第 8 章)</li> <li>11 . 知的発達のメカニズム ( 第 9 章 )</li> <li>12 . 人格発達の基礎(第 10 章)</li> <li>13 . 個に応じた教育実践(障害を持った生徒たちの指導を含む)</li> <li>14 . カウンセリング(第 11 章)</li> <li>15 . まとめと評価 ( 到達度の確認 )</li> </ol> |              |           |
| テキスト             | 『やさしい教育心理学』鎌原雅彦・竹綱誠一郎著 ( 有斐閣 )   |              |           |
| 参考文献             | 適時、指示する。   |              |           |
| 成績評価の基準・方法       | <p>【成績評価の基準】</p> <p>学校教育の現状をふまえ、教育と学習に関する基礎理論を理解し、個々の学習者を尊重し、課題を解決しようとする者に授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する項目の到達度に応じて、SからCまで成績を与える。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>レポート・小テスト60%、ディスカッションへの積極的な参加、質問などの受講態度40%を基準として、総合的に評価する。</p>   |              |           |
| 履修上の注意・履修要件      | <p>教員を志す者のみを対象とする。卒業後、教職に就きたいという強い意志をもつ者のみ、履修可。よく検討してから履修すること。</p> <p>授業中に指示した課題はもとより、指定テキストを用いた十分な予習・復習のうえ、講義に出席すること。</p> <p>原則対面で実施する予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、WEBEX</p>   |              |           |

|       |  |
|-------|--|
|       | 等のオンライン手段を使用する可能性があります。<br>履修者は、自宅等でオンライン授業の受講ができる通信環境（PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境等）を整えること。   |
| 実践的教育 | 該当しない  |
| 備考    | 担当教員は学校教育現場における人間発達の研究を行っている。この講義は、担当教員の専門分野を含む発達・教育心理学全般を研究する上で必要な学問的基礎部分について解説するものである。詳細は教員研究者データベースHP（ <a href="https://cv01.uinfinity.jp/u_hyogo/">https://cv01.uinfinity.jp/u_hyogo/</a> ）を参照のこと。 |